

病害虫名：クワシロカイガラムシ  
対象作物：茶

### 1 注意報の内容

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| (1) 発生が予想される地域        | : 県内全域  |
| (2) 第2世代幼虫の発生が予想される時期 | : 7月上中旬 |
| (3) 発生程度              | : 多     |
| (4) 防除時期              | : 7月上中旬 |

### 2 注意報発表の根拠

- (1) 令和8年6月上中旬の茶巡回調査では、平均雄繭寄生株率は県全体で19.8%（平成8.2%）と平成より2倍以上多かった。地域別では、富士山麓で13.3%（平成6.0%）、静岡市北部で13.0%（平成4.6%）、牧之原で32.5%（平成15.3%）、小笠・磐田原で23.8%（平成10.4%）、川根で18.9%（平成4.5%）と各地域で発生が平成より多かった。（表1）  
このため、次世代でも発生が多くなることが懸念される。
- (2) 雄繭発生面積率は、県全体で56.8%（平成33.0%）と平成より多かった。地域別では、富士山麓で55.6%（平成24.0%）、静岡市北部で30.0%（平成25.0%）、牧之原で62.5%（平成50.0%）、小笠・磐田原で62.5%（平成41.0%）、川根で77.8%（平成25.0%）であった。（表1）

### 3 防除方法

- (1) 発生が認められる茶園（図1～3）では、適期に防除を行う。
- (2) 防除適期は、卵の半数以上がふ化に達した卵塊の比率が、全体の60～90%になる時期である。アメダス気象データを用いた予測（6月19日現在）によると、今後の気温が平成並で推移した場合、県内における第2世代幼虫の防除適期は7月3日～18日と予想される。なお、今後の気温が平成より高く推移した場合、防除適期は早まるため注意する。
- (3) 産地ごとの詳細な防除適期は、病害虫防除所ホームページ「[防除時期等予測](#)」を参照する。
- (4) 薬剤防除については、静岡県病害虫防除所による「[静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準](#)」を参照する。なお、薬剤の選択に際しては収穫前日数や総使用回数に注意する。
- (5) 薬液は樹冠内の枝幹に十分かかるよう、十分量（成木園で1,000L/10a）を散布する。ノズルは、専用のノズルを使うと効果が高い。具体的には、動力噴霧器による手散布ではアーチ型ノズル等、乗用型防除機による散布では上方ブームノズルとカイガラノズルを併用する。
- (6) 防除にあたっては、周辺ほ場へのドリフトに十分留意する。
- (7) 不明な点については、病害虫防除所、農林技術研究所茶業研究センター、農林事務所等の指導機関に問い合わせる。

表1 6月の各地域の茶園におけるクワシロカイガラムシ雄繭発生状況

		地域 <sup>a)</sup>					
		富士山麓	静岡市北部	牧之原	小笠・磐田原	川根	県全体
平均雄繭寄生株率 (%)	本年	13.3	13.0	32.5	23.8	18.9	19.8
	平年 <sup>b)</sup>	6.0	4.6	15.3	10.4	4.5	8.2
雄繭発生面積率 (%)	本年	55.6	30.0	62.5	62.5	77.8	56.8
	平年 <sup>b)</sup>	24.0	25.0	50.0	41.0	25.0	33.0

a) 各地域の数値は、10園地の平均値。県全域は全50園地の平均値。

b) 過去10年間（2016年～2025年）の平均値。



図1 茶枝に寄生した雄繭



図2 雌成虫と卵塊



図3 茶枝に寄生した雌成虫

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘 678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/boujo/index.html>

